

回復期病院誘致に係る医療機関への 「アンケート調査」の結果(概要)報告について



1. アンケート調査について

1. 調査の目的

市立伊丹病院と公立学校共済組合近畿中央病院の統合再編後の近畿中央病院跡地に、**伊丹市域の医療需要を踏まえて回復期機能を有する民間医療機関の誘致が必要**とされていることから、誘致の早期実現に向けた取り組みを進めるため、阪神医療圏内の医療機関へのアンケート調査を実施するもの

2. 調査対象医療機関

阪神医療圏域内の病院（70医療機関）

3. 調査期間

令和6年6月から7月

4. アンケート調査内容の概要

1. 近畿中央病院跡地活用の興味・関心
2. 興味・関心のある医療機関に対する①～③の内容
- ① 移転または新設する規模、病床数（医療機能）
- ② 現近畿中央病院建築物の継続利用の可否
- ③ 外来診療機能設置の可否（設置予定診療科）
3. 自由意見

5. アンケート調査実施主体

伊丹市及び公立学校共済組合

アンケート調査票

問 1 近畿中央病院跡地へ現在の病院の病床数を「移転する」、または、「新設する」ことに
ついて、以下の項目から選択してください。
(該当する番号に○を付けてください)

1	大変興味・関心がある
2	興味・関心がある
3	興味・関心がない
4	わからない

問 2 「移転」をお考えの病床数を選択してください。(予定で結構です)
(該当する番号に○を付けてください)

1	病床機能別 病床数	医療機能	「移転」病床数	現在運営の病床数
		高度急性期	床	床
		急性期	床	床
		回復期	床	床
		慢性期	床	床
2	わからない			

問 3 「新設」をお考えの病床数を選択してください。(予定で結構です)
(該当する番号に○を付けてください)

1	病床機能別 病床数	医療機能	「新設」病床数	現在運営の病床数
		高度急性期	床	床
		急性期	床	床
		回復期	床	床
		慢性期	床	床
2	わからない			

問 4 近畿中央病院の建築物を使用することは検討されますか。
(該当する番号に○を付けてください。)

1	検討する
2	検討しない
3	わからない

問 5 外来診療機能を設置する予定はありますか。
(該当する番号に○を付けてください。)

1	設置予定
2	設置しない
3	未定

問 6 設置予定の診療科をご回答ください。

※「1」及び「2」を選択された場合は、「問2」以降もご回答ください。

※「3」及び「4」を選択された場合は、「自由ご意見欄」以下にお進みください。

※医療機能別病床数については、令和4年度病床機能報告の数字をご記入ください。

※「移転」とは、現在運営の病床数の全部または一部を近畿中央病院跡地に移す場合を想定しております。

現在運営の病床数はそのまま、新たに近畿中央病院跡地に病床を設ける場合は、次の問3の「新設」欄にご記入をお願いします。

上記問5で「1」を回答された方にお伺いいたします。

【自由ご意見欄】
本事業の実施にあたり、市または公立学校共済組合にご意見やご質問がある場合は、下記にご記入ください。

2. アンケート調査結果

1. 結果概要

調査期間：令和6年6月～7月

調査対象：阪神医療圏域内の70医療機関

回答総数：33医療機関

回答率：47.1%

2. 回答概要

- ① 近畿中央病院跡地に対する興味・関心について、
 - 「大変興味・関心がある」… 5医療機関
 - 「興味・関心がある」… 6医療機関
- ② ①の11医療機関のうち、現在の近畿中央病院の建築物の使用について、
 - 「検討する」の回答は4医療機関あり
- ③ ①の11医療機関のうち、移転・新設した場合の外来診療機能について、
 - 「設置予定」の回答は6医療機関あり



令和6年7月～8月にかけて、回答概要の①の
8医療法人11医療機関にヒアリングを実施

3. ヒアリング等実施概要

項目	内容
移転・新設想定	・移転：2医療機関 ・新設：6医療機関 全移転+新設：1医療機関 ・わからない：2医療機関
移転・新設 想定病床数	高度急性期、急性期、回復期、慢性期の合計病床数 ・移転：38床～262床 ・新設：90床～180床
近畿中央病院 建築物活用含む 跡地活用全般 関するご意見	・24,000㎡の土地は持て余すのではないか ・土地等は売却ありきなのか、賃貸も可能なのか ・建築物の耐震化や設備等を含む <u>修繕歴、費用などの情報</u> が必要 ・土地・建物の <u>平面図、設備図面</u> が必要 ・工期短縮のために、 <u>現駐車場の有効活用</u> を検討
医療提供体制に 関するご意見	・ <u>回復期病床の需要は高く</u> 、積極的に跡地活用を検討 ・回復期のみではなく、 <u>介護系との一体的な検討</u> が必要 ・ <u>回復期から在宅までの複合的なサービス展開</u> が可能 ・後期高齢者が比較的多く、 <u>訪問リハに加え、老人施設の併設</u> も検討 ・介護系を含め、通所、訪問、予防リハなど <u>今後の需要を見通した検討</u> が必要 ・ <u>各施設ごとに機能分化</u> を行うことで、跡地の価値が高まる ・ <u>外来診療機能</u> については、 <u>伊丹市、尼崎市医師会との調整</u> が必要 ・外来診療機能は <u>医師の確保がポイント</u> ・ <u>看護師の確保に時間が必要</u>

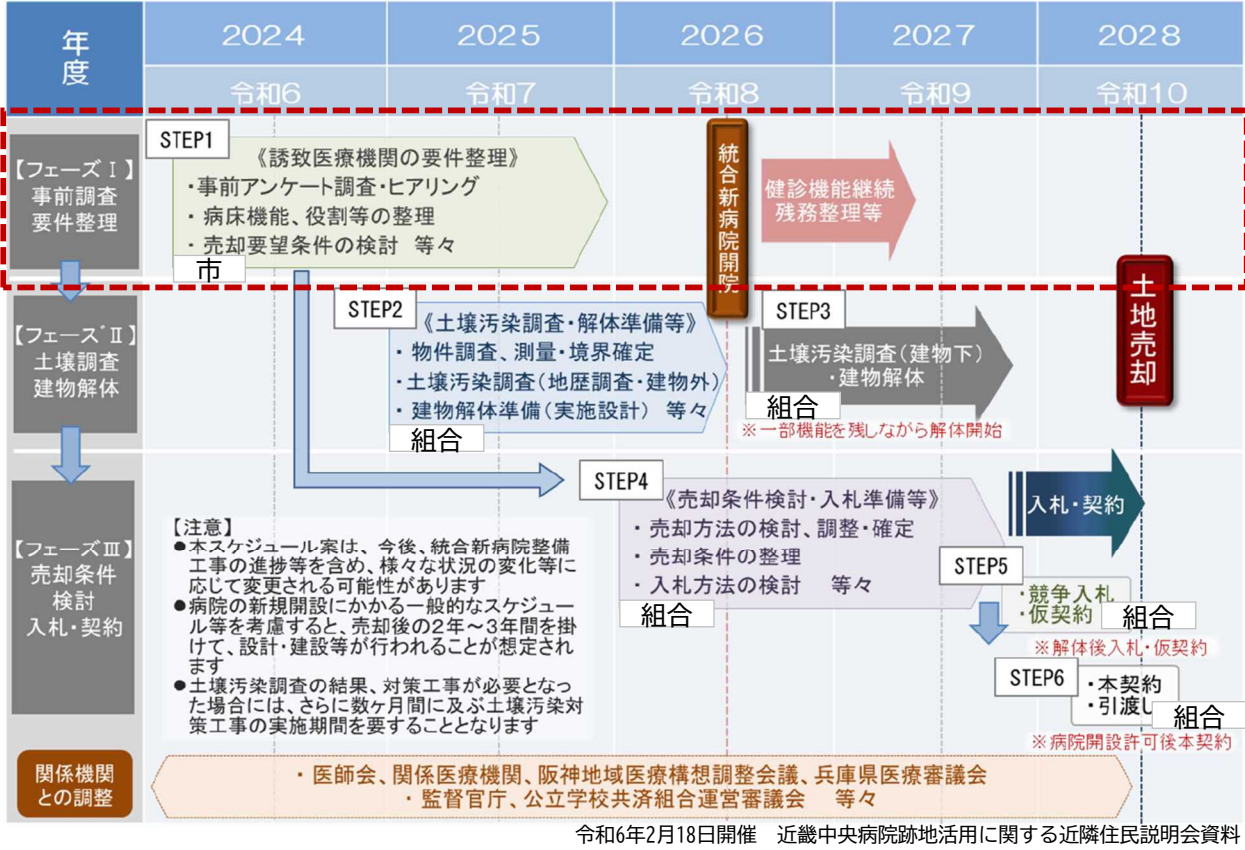


アンケート調査結果、ヒアリング内容については、整理したうえで、
公立学校共済組合と情報共有

3. 今後のスケジュール

令和6～7年度の主な取組内容

時 期	取 組 内 容	
R6.11	令和6年度第1回統合委員会	随時 ヒアリング実施 共済組合 状況共有 実施
R7.1	統合委員会議事概要公表	
R7.2	令和6年度近隣住民説明会（本日）	
R7上半期	病床機能、役割等の整理 売却要望条件の検討	
R7.11	令和7年度第1回統合委員会（予定）	随時 共済組合 状況共有 実施
R7.12	公立学校共済組合と随時情報共有し、 売却要望条件等を整理	
R8.1	統合委員会議事概要公表（予定）	
R8.2	令和7年度近隣住民説明会（予定）	
R7年度末	近隣住民説明会の意見交換後、 売却要望条件等検討内容の整理 公立学校共済組合への 売却要望条件等整理内容共有	



方向性

- ヒアリング内容を踏まえ、売却要望条件を検討し、**誘致医療機関の要件整理**
- 要件整理と並行し、早期の売却に向けて、想定スケジュールSTEP2～4の工程を**前倒しで進めることの情報共有**

STEP2：土地測量調査・解体準備等
STEP3：土壌汚染調査（建物下）・建物解体
STEP4：売却条件検討・入札準備等